

2019 年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏 名
経営学部 国際ビジネス学科	教授	夏目 啓二
最終学歴	学 位	専門分野
立命館大学大学院経営学研究科博士課程修了	博士	経営学

I 教育活動

○目標・計画

(目標)

国際ビジネスの教育を建学の精神に基づき実施すること。

(計画)

国際ビジネスと国際経営の教育を「オンリーワンを、一人に、ひとつ。」をコンセプトに実施すること。

○担当科目 (前期・後期)

(前期)

経営戦略論、国際経営論、地域ビジネス特講Ⅵ、卒業研究指導Ⅱ

(後期)

グローバルビジネス論、アジア経済論、卒業研究指導Ⅰ、卒業研究指導Ⅲ

○教育方法の実践

○作成した教科書・教材

○自己評価

II 研究活動

○研究課題

21 世紀デジタル多国籍企業の経営戦略

○目標・計画

(目標)

・論文「デジタルな世界で進むグローバルな分断と社会的な課題」

(計画)

・論文「デジタルな世界で進むグローバルな分断と社会的な課題」百田義治編(2020)『現代経営学の課題 (仮題)』中央経済社。

○2012 年 4 月から 2020 年 3 月の研究業績 (特許等を含む)

(著書)

・小栗崇資・夏目啓二編著(2019)『多国籍企業・グローバル企業と日本経済』新日本出版社。

・夏目啓二編著(2017)『21 世紀 ICT 企業の経営戦略』文眞堂

・夏目啓二・陸云江著(2017)『現代中国の ICT 多国籍企業』文眞堂

・夏目啓二著 (2014)『21 世紀の ICT 多国籍企業』同文館

(学術論文)

- ・夏目啓二(2019)「デジタル多国籍企業の経済的覇権」『経済』No. 285. 20-25 頁。
- ・夏目啓二(2019)「米中デジタル覇権競争」『経済』No. 285. 62-72 頁。
- ・夏目啓二(2018)「インフラ整備と越境 EC 一帯一路の光と影」『経済』No. 275, 8 月号。
- ・夏目啓二(2017)「オフショア・アウトソーシングへーIT 多国籍企業の史的展開」『現代アメリカ経済史ー「問題大国」の出現』有斐閣。【査読有】
- ・夏目啓二(2017)「21 世紀 ICT 企業の経営戦略」夏目啓二編『21 世紀 ICT 企業の経営戦略』文眞堂, 1-12 頁
- ・夏目啓二(2017)「21 世紀アメリカ多国籍企業の新展開」夏目啓二編『21 世紀 ICT 企業の経営戦略』文眞堂, 15-37 頁
- ・夏目啓二(2016)「中国の国有多国籍企業 : 世界の大企業体制のなかでみる」『経済』(244), 115-125 頁
- ・夏目啓二(2016)「グローバリゼーションと世界の大企業体制の変貌」日本経営学会編『経営学論集』86(0), 96-104 頁
- ・夏目啓二・陸雲江(2015)「中国通信機器企業の国際競争力ーファーウェイを中心としてー」『龍谷大学経営学論集』第 54 巻第 3 号・4 号、3 月、19-35 頁【査読有】
- ・夏目啓二(2014)「書評 イアン・ブレマー著、有賀裕子訳(2011)『自由市場の終焉 : 国家資本主義とどう闘うか』」『龍谷大学経営学論集』第 53 巻第 2 号、1 月、95-100 頁
- ・夏目啓二(2013)「書評 吉岡英美著『韓国の工業化と半導体産業』」経営史学会編『経営史学』48(1), 67-69 頁
- ・夏目啓二(2012)「世界経済危機後の多国籍企業」『龍谷大学経営学論集』第 52 巻第 1 号、6 月、44-61 頁【査読有】
- ・夏目啓二(2012)「調査報告 : 富士通の IT サービス事業における人材育成」『龍谷大学経営学論集』第 51 巻第 3 号、2 月【査読有】

(学会発表)

- ・夏目啓二「米中デジタル多国籍企業の競争と協調ー米中貿易摩擦の背景ー」日本比較経営学会第 44 回全国大会(徳島文理大学) 2019 年 5 月 11 日。
- ・Keiji.Natsume, “Struggles for supremacy by Multinationals between U.S. and China – in the case of High-Tech Industry –,” Kyoto International Conference (京都大学経済研究所) 2019 年 7 月 20 日。
- ・夏目啓二「米中デジタル多国籍企業の覇権争いの現段階」アジア経営学会第 26 回全国大会(小樽商科大学) 2019 年 9 月。
- ・Keiji.Natsume, “The Competitive Advantage of Huawei in the Global High-tech Industry: How to Overcome the Sanctions by U.S. Government,” Kyoto International Conference (京都大学経済研究所) 2019 年 12 月 14 日。
- ・夏目啓二(2018)「中国の一帯一路と越境 EC の光と影」京都大学経済研究所・共同研究拠点。
- ・夏目啓二(2018)「プラットフォーム・エコノミーー変貌する世界経済の主役 : 社会経済的視点からー」経済理論学会東海部会。
- ・夏目啓二(2016)「グローバリゼーションと世界の大企業体制の変貌」日本経営学会第 91 回全国大会統一論題報告(熊本大学) 9 月
- ・夏目啓二(2014)「サービス多国籍企業ーグローバル ICT 産業を中心としてー」多国籍企業学会第 7 回全国大会統一論題報告(九州大学)、7 月
- ・夏目啓二(2013)「国有多国籍企業と国家資本主義」多国籍企業学会第 6 回全国大会自由論題報告

(阪南大学)、7月

- ・夏目啓二・陸運江(2013)「中国 ICT 企業の競争力ーパソコン産業を中心としてー」アジア経営学会第 20 回全国大会自由論題報告 (京都大学)、9月
- ・夏目啓二(2012)「世界経済危機後の多国籍企業ーWorld Investment Report 2011 から読むー」多国籍企業学会西部例会 (京都私学会館) : 3月3日

(特許)

(その他)

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況 (学内外)

- ・日本学術振興会科学研究費補助金による研究成果
 - (1) 2007 年度～2009 年度 : 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B) : 研究課題「IT 人材の国際移動がアジアの IT 産業発展に及ぼす影響の地域比較」(課題番号 : 19330091) : 研究成果 : 夏目啓二編著 (2010) 『アジア ICT 企業の競争力』ミネルヴァ書房
 - (2) 2010 年度～2012 年度 : 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C) : 研究課題「日米 ICT 多国籍企業とアジア ICT 企業との研究開発力に関する国際比較」 : 研究成果 : 夏目啓二(2014) 『21 世紀の ICT 多国籍企業』同文館出版
 - (3) 2016 年度 : 日本学術振興会学術図書補助金 : 研究成果 : 夏目啓二・陸運江(2017) 『現代中国の ICT 多国籍企業』文真堂
- ・龍谷大学社会科学研究所指定研究・共同研究助成金による研究成果
 - (1) 2006 年度～2008 年度 : 龍谷大学社会科学研究所・指定研究助成金 : 「IT 人材の国際移動が中国の IT 産業発展に及ぼす影響の日米比較」 : 研究成果 : 夏目啓二編著 (2010) 『アジア ICT 企業の競争力』ミネルヴァ書房
 - (2) 2013 年度～2015 年度 : 龍谷大学社会科学研究所・共同研究助成金 : 「グローバルな ICT 産業における経営戦略の国際比較」 : 研究成果 : 夏目啓二編著(2017) 『21 世紀 ICT 企業の経営戦略』文真堂

○所属学会

日本経営学会、アメリカ経済史学会、アジア経営学会、多国籍企業学会、日本比較経営学会、労務理論学会

○自己評価

III 大学運営 ※該当なし

○目標・計画

(目標)

(計画)

○学内委員等

○自己評価

IV 社会貢献

○目標・計画

(目標)

2018 年 9 月～2021 年 9 月 : アジア経営学会常任理事 (機関誌担当) の継続。

2015年3月～2021年3月：京都大学経済研究所評議員の継続。

2004年9月～2020年9月：ビジネス系大学教育会議常任理事・理事の継続。

(計画)

日本比較経営学会第44回全国大会で報告。

アジア経営学会第26回全国大会で報告。

京都大学経済研究所・共同研究プロジェクトで報告。

○学会活動等

2010年9月～2013年9月：日本経営学会常任理事（国際交流担当）

2013年9月～2016年9月：日本経営学会常任理事（国際交流担当）

2015年9月～2018年9月：アジア経営学会常任理事（部会・プログラム担当）

2018年9月～2021年9月：アジア経営学会常任理事（機関誌担当）

2011年6月～2014年6月：日本比較経営学会理事・理事長

2006年9月～2013年9月：国際経済学会理事

2016年3月～2021年3月：京都大学経済研究所評議員。

○地域連携・社会貢献等

2004年9月～2020年9月：ビジネス系大学教育会議常任理事・理事

○自己評価

V その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学術交流、自己研鑽等）

・ On 1, September, 1998-31, August 1999, Visiting scholar of University of California at Davis.

・ On 1-2, September 2014, Program Chair of International Conference of IFSAM(International Federation for Scholarly Association of Management) at Meiji University.

VI 総括

以上